

4. 爱知县的教育 愛知県の教育

基本理念 基本理念

推动可促进学生自主思考、相互扶持、共同提高的爱知的教育实践，培养能建设可持续发展社会的创造者。

自ら考え、互いに支え合い、高め合うことのできるあいちの学びを進め、持続可能な社会の創り手を育みます。

5. 学校教育 学校教育

1. 日本的学校制度 日本の学校制度

日本的近代学校制度始于公布学制的 1872 年。直至第二次世界大战，采取的是双轨制。大战后，为实现教育机会平等的理念，采取了 6-3-3-4 制的单轨制（如图 4 所示）。然而，近年学校制度再次转向多样化。

日本の近代学校制度は 1872 年の学制発布に始まる。第二次世界大戦までは、複線的な制度が採用されていたが、戦後は、図 4 に見られるような 6-3-3-4 制と呼ばれる単線的な制度が、教育の機会均等の理念の実現を目指して導入された。しかし、最近になって再び制度の多様化が図られている。

图 4: 日本教育制度

図 4: 日本の教育制度

2. 爱知县的学校教育 愛知県の学校教育

(1) 幼儿教育 幼児教育

学前儿童可利用的设施有幼稚园、保育所、认定儿童园等。这些设施实施教育和保育照料。

作为教育机构的幼稚园，由文部科学省管辖。幼稚园是学校教育的开端，设有2年或3年的课程，年满3周岁的儿童可入园。幼稚园作为为义务教育及之后的教育培养基础的设施，目的在于照料幼儿，为幼儿的健康成长提供适当的环境，促进其身心发展，为完善人格打好基础。

需要学前保育的婴幼儿可上保育所。认定儿童园则综合实施教育和保育照料。

有关保育所和认定儿童园的详情，可咨询爱知县福祉局育儿支援课。

就学前の子供の通う施設として、幼稚園・保育所・認定こども園等があり、教育・保育を行っている。

教育施設としての幼稚園は、文部科学省の管轄下におかれている。幼稚園は、学校教育の始まりとして3歳児から就学前の幼児が入園でき、2年又は3年の課程がある。幼稚園は義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的とし、人格形成の基礎を培っている。

また、保育所は、就学前の保育を必要とする乳幼児が入園でき、認定こども園は、教育・保育を一体的に行っている。

保育所・認定こども園については、愛知県では、福祉局子育て支援課が相談窓口となっている。



玩电车游戏的幼儿
電車ごっこを楽しむ園児

(2) 义务教育 義務教育

小学：对于年满6周岁的儿童，监护人有义务使其接受6年小学教育。小学阶段根据儿童的身心发展实施初等普通教育。

初中：对于修完小学课程的所有儿童，监护人有义务使其接受3年初中教育。初中阶段在小学教育的基础上，实施符合儿童身心发展的中等普通教育。

义务教育学校：实施从小学到初中的9年一贯制义务教育。

小学：6歳に達した子供は全て、保護者が6年間の小学校教育を受けさせることが義務付けられている。心身の発達に応じた初等普通教育を行っている。

中学：小学校の課程を修了した全ての子供は、保護者がさらに3年間の中学校教育を受けさせることが義務付けられている。小学校における教育の基礎の上に心身の発達に応じた中等普通教育を行っている。

義務教育学校：小学校から中学校までの9年間の義務教育を一貫して行っている。



小学课堂风景
小学校の授業風景



小学与初中的农业体验交流活动（综合学习时间）
小・中学校交流の農業体験（総合的な学習の時間）

(3) 高中教育 高等学校教育

爱知县约 99%的初中毕业生升入高中继续学习。高中阶段设有全日制、定时制、通信制的 3 种课程。全日制学习年限为 3 年，定时制和通信制为 3 年以上。高中在初中教育的基础上，根据儿童的身心发展，实施普通教育和专业教育。有关专业教育的学科，县内设有农业、工业、商业、水产、家庭、护理、福祉、美术、音乐、运动科学、国际教养、国际探索、理数等各学科。爱知县根据科技发展和社会产业的变化，不断新设和改编学科。此外，爱知县正在推进设置兼具普通学科和专业学科二者特长的综合学科，以及可兼学专业课程的普通学科。

愛知県では、中学校卒業者の約 99%が高等学校へ進学する。高等学校には全日制、定時制、通信制の 3 課程があり、全日制は 3 年、定時制、通信制は 3 年以上の修業年限が必要である。中学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、普通教育及び専門教育を行っている。専門教育を行う学科として、県内には農業、工業、商業、水産、家庭、看護、福祉、美術、音楽、スポーツ科学、国際教養、国際探究、理数などの各学科があり、科学技術の進展や産業社会の変化に対応しつつ、学科の新設、改編を進めている。また、普通科と専門学科の長所を併せ持つ総合学科や、普通科で専門科目を学ぶことができるコースの設置も進めている。



专业学科的课堂风景
専門学科の授業風景



高中的社团活动风景
高等学校の部活動風景

高中生们放学后积极参加运动部、文化部等社团活动，并定期发表活动成果。

高等学校の生徒たちは、授業が終了したあと、運動部や文化部の活動に励んでおり、その成果を定期的に発表している。

(4) 特殊教育 特別支援教育

为帮助有残疾的儿童能自立生活并积极参与社会活动，特殊教育学校、小学和初中的特殊教育班以及普通班在籍指导教室积极了解每个儿童的教育需求，对他们进行适当的指导和必要的援助，以便发挥儿童自身特长并帮助他们改善或克服生活和学习中遇到的困难。同时，这些学校、班级和教室对在小学和初中等校的普通班上课但需要一定特殊教育指导的儿童，也提供尽可能的帮助。

爱知县正着重推进特殊教育的以下事项：残疾儿童及其监护人等走入县立特殊教育学校，体验校园生活；推进残疾儿童与健全儿童的交流和学习，以促进对残疾儿童的正确理解和相互关心；推进从小学到高中的一贯性职业意识教育，以加强残疾儿童的自立能力和社会参与能力。

障害のある子供たちに対しては、自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するため、特別支援学校並びに小・中学校の特別支援学級及び通級指導教室において、その一人一人の教育的ニーズを把握し、持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するために適切な指導及び必要な支援を行っている。また、小学校や中学校等の通常の学級に在籍する教育上特別な支援を必要とする児童生徒の教育的支援にも努めている。

特に愛知県では、障害のある子供及びその保護者を主たる対象とした県立特別支援学校体験入学、障害のある子供に対する正しい理解とお互いの思いやりの気持ちを育てる交流及び共同学習の推進、自立と社会参加に向けた小学部、中学部から高等部までの一貫したキャリア教育の推進等を行い、特別支援教育の一層の充実に努めている。



盲校的自活动课
盲学校における自立活動の授業



高中特殊教育学校的工业课
高等特別支援学校における工業科の授業



肢体残疾特殊教育学校使用电脑上课
肢体不自由特別支援学校におけるパソコンを使った授業



病弱特殊教育学校的老师到儿童的病房上课
病弱特別支援学校による病室での授業

(5) 夜间初中 夜間中学

针对超过义务教育年龄（满 15 周岁）而没有在日本或海外上完义务教育课程，或者由于不登校等种种情况未能充分接受学校教育而初中毕业的人，爱知县设置了可进行日语基础学习指导和可重新学习义务教育阶段内容的夜间初中。（2025 年 4 月在丰桥市、2026 年 4 月在丰田市、小牧市、一宫市开校。）

義務教育の年齢（満 15 歳）を超えた人で、日本または海外で義務教育を修了していない人、または不登校など様々な事情によって十分な教育を受けられないまま中学校を卒業した人を対象として、日本語の基礎指導や義務教育段階の学び直しに対応する夜間中学を設置する。（2025 年 4 月には豊橋市、2026 年 4 月には豊田市・小牧市・一宮市に開校。）

(6) 学校保健和校餐 学校保健と学校給食

保健和安全： 学校教育の基本目標之一，是培养学生们的身心健康。因此，学校从重视健康教育的观点出发，为使学生们的生活健康而安全，开展培养良好习惯和态度的保健教育和安全教育。同时实施体检、环境卫生检查、设施设备的安全点检等，以确保保健管理和安全管理到位。

校 餐： 校餐中积极使用当地食材，努力提供味道与营养俱佳的饭菜。另外，校餐也是进行食育的生动而重要的教材。通过校餐的食育，可使儿童了解有关食物的知识和习俗，并增进与他人的交流。

保健・安全： 心身ともに健康な児童生徒を育成することは、学校教育の基本的な目標の一つである。このため、学校では、健康教育重視の観点から、児童生徒が健康で安全な生活を営むために必要な習慣や態度を養う保健教育及び安全教育を行うとともに、健康診断、環境衛生検査、施設設備の安全点検等により、適切な保健管理及び安全管理を行っている。

給 食： 学校給食は、地場産物も取り入れながら、おいしくて栄養バランスが優れた献立が工夫されている。また、食に関する知識や習慣を身に付けたり、食を通して豊かな人間関係を育んだりする食育の生きた教材としても重要な役割を担っている。



校餐时的食育

給食の時間の食育

(7) 教师 教員

为培养儿童能应对社会的急速变化，成为建设可持续性发展社会的一员，教师自身要时刻保持不断学习的态度，自律进取，自主研修，保持高度的专业自觉性，不断提高自身的修养和能力。

爱知县为培养优秀教师，进一步提高教师们的指导技术、专业素质与能力，在爱知县综合教育中心根据教师们的教职经历，对新任教师、骨干教师和管理人员开展系统而有效的培训。

社会の急激な変化に対応し、持続可能な社会づくりの担い手として生き抜くことができる子供たちを育成するためには、教員自身が常に学び続ける姿勢をもち、自律的かつ主体的な研修に努力、高度専門職としての自覚の下に、生涯にわたって身に付けるべき資質・能力を高めていくことが必要である。

愛知県では、優れた教員の養成、指導技術及び資質・能力の一層の向上を図るため、初任者から中堅者、管理職まで、教職員のキャリアステージに応じた体系的かつ効果的な研修を、愛知県総合教育センターを中心に実施している。



爱知県総合教育中心
愛知県総合教育センター

为加强本县教育，爱知县综合教育中心除教师培训外，还开展和教育有关的调研和咨询服务等工作。

另外，该中心为提高教研力量和教师们的指导水平，还制作有关教育文献等的教育信息数据库，提供给学校和教师。

本県教育の充実を図るため、愛知県総合教育センターでは教員研修以外にも、教育に関する調査研究、教育相談などの業務を行っている。

また、教育研究の充実と教員の指導力の向上に向けて、教育文献などの教育情報のデータベースを構築し、学校や教員へ提供している。